



VISION GLASS NO PROBLEM展

2015年10月1日(木) — 7日(水) 14:00-20:00 (土日12:00-18:00)

場所：VISION GLASS JP 倉庫兼事務所(台東区小島2-18-17 6F) / 入場無料

私たちVISION GLASS JPは、これまでに様々な理由で市場に出さなかったガラスの全てを、VISION GLASS NO PROBLEMとして展示します。

輸入を始めてから2年、私たちは送られてきたガラスの全てを検品しています。それらの良し悪しは、白と黒のようにはっきりと分かるものではありません。小さな汚れから大きな傷や歪みまで、あらゆる種類と程度の「何か」があり、それを日本の市場が求めているであろう基準と照らし合わせながら出荷したり又は控えたり、を繰り返しています。一方、VISION GLASSを製造するインドのBOROSIL社では日本向け専門の検品チームを揃え、特別厳しい基準を設けています。インドでそれほど慎重に選ばれているにもかかわらず、日本の市場には出し控えるものがまだまだあるということです。日々、私たちの目の前に積まれてゆく「市場に出さないガラス」はインドの価値観と日本のそれとの狭間で行き場を失ったガラスであり、その量の多さは狭間の大きさを示しているのです。

厳しさによって生まれる価値があります。厳しさによって生まれる無駄があります。2年間で私たちの倉庫に溜まったVISION GLASS NO PROBLEMを眺めることで、物の価値に対する自分自身のものさしについて、考えてみたいと思います。

VISION GLASS NO PROBLEM展示〈インスタレーション〉

これまでに様々な理由で市場に出さなかったガラスの全てをVISION GLASS NO PROBLEMとして展示します。この大量のガラスを見つめる先に見えてくる物の価値に対する自分自身のものさしについて、考えてみたいと思います。

NO PROBLEM 投票所

ある順番に並べられたNO PROBLEM。ひとつひとつを眺めたあと、自分の思うひとつを選んでいただき、投票をお願いします。

The name of no problem

さまざまな“何か”があるNO PROBLEM。多様なその“何か”を見て、感じたままに、名前をつけました。もし、自分が命名するとしたら、どんな名前をつけますか？

映像作品

モノづくり、コミュニティづくり、モノのその後へ関わるなど、多様な働き方で活躍されている方々に、モノを選ぶ時の基準や、大切にしている事などを伺いました。

〈参加インタビュー〉

西村 佳哲 / リビングワールド代表、プランニング・ディレクター、働き方研究者
中台 澄之 / 株式会社ナカダイ モノ：ファクトリー代表
兼松 佳宏 / greenz.jp 編集長
高橋 孝治 / プロダクトデザイナー

Borosil Glass Works Ltd. (BGWL)

1962年創業、インドの老舗ガラスメーカー。ピーカーやフラスコなどの理化学用ガラス製品、家庭用耐熱ガラス食器などを製造。ムンバイに本社がある。 www.borosil.com